

医学生と民医連の
情報誌

◎ SAKA
medi-wing

71
2019

特集

「奨学生合宿」
医師像を考える

なにわの医療道場
核兵器こそ「健康の対極」、
医師として核廃絶をめざそう！

高校生・受験生の
みなさんへ
「未来の医師を応援」

いがくせいだより
けんしゅうエッセー

はじめまして民医連です

はじめまして民医連です

私たち民医連は、無差別・平等の医療と福祉の実現を目指す組織です。
戦後、医療に恵まれない人々と医療従事者が手をたずさえて各地で民主診療所が作られました。そして、1953年、「働くひとびとの医療機関」として全日本民主医療機関連合会を立ち上げました。
それから60年余り、なによりも地域の人たちの思いを大切に、地域に求められる医療を行ってきました。
最も困難な人たちの立場に立つて、寄り添う。
設立以来一貫して、無差別・平等の理念を掲げる私たちの病院は、差額ベッド代を頂いていません。また、無料低額診療にも取り組んでいます。これは、「お金のあななしで医療に差別があつてはならない」という私たちの考えによるものです。

民医連綱領

私たち民医連は、無差別・平等の医療と福祉の実現をめざす組織です。

戦後の荒廃のなか、無産者診療所の歴史を受けつぎ、医療従事者と労働者・農民・地域の人びとが、各地で「民主診療所」をつくりました。そして1953年、「働くひとびとの医療機関」として全日本民主医療機関連合会を結成しました。

私たちは、いのちの平等を掲げ、地域住民の切実な要求に応える医療を実践し、介護と福祉の事業へ活動を広げてきました。患者の立場に立った親切でよい医療をすすめ、生活と労働から疾病をとらえ、いのちや健康にかかわるその時代の社会問題にとりくんできました。また、共同組織と共に生活向上と社会保障の拡充、平和と民主主義の実現のために運動してきました。

私たちは、営利を目的とせず、事業所の集団所有を確立し、民主的運営をめざして活動しています。

日本国憲法は、国民主権と平和的生存権を謳い、基本的人権を人類の多年にわたる自由獲得の成果であり永久に侵すことのできない普遍的権利と定めています。

私たちは、この憲法の理念を高く掲げ、これまでの歩みをさらに発展させ、すべての人が等しく尊重される社会をめざします。

- 一、人権を尊重し、共同のいとなみとしての医療と介護・福祉をすすめ、人びとのいのちと健康を守ります
- 一、地域・職域の人びとと共に、医療機関、福祉施設などの連携を強め、安心して住み続けられるまちづくりをすすめます
- 一、学問の自由を尊重し、学術・文化の発展に努め、地域と共に歩む人間性豊かな専門職を育成します
- 一、科学的で民主的な管理と運営を貫き、事業所を守り、医療、一、介護・福祉従事者の生活の向上と権利の確立をめざします
- 一、国と企業の責任を明確にし、権利としての社会保障の実現のためにたたかいます
- 一、人類の生命と健康を破壊する一切の戦争政策に反対し、核兵器をなくし、平和と環境を守ります

私たちは、この目標を実現するために、多くの個人・団体と手を結び、国際交流をはかり、共同組織と力をあわせて活動します。

2010年2月27日
全日本民主医療機関連合会



特集

奨学生合宿 in 岡山

医師像を考える

医師の役割とは何でしょうか。人命救助や医学発展への尽力はもちろんですが、事実を正しく知って正しく行動するという科学者としての側面もあるのではないのでしょうか。奨学生活動では無差別・平等の医療と福祉の実現を掲げる民医連綱領をもとに、実情やリアルを知るため、実際に現場に足を運んでいます。

今回は、ハンセン病について、1930年発足のハンセン病国立療養所「長島愛生園」、そして水島公害について公害訴訟および患者救済に取り組んだ水島協同病院に赴いて学びの旅を行いました。



民医連の組織現勢

全日本民医連加盟事業所数	(2018.5現在)
病院	142
有床診療所	14
無床診療所	481
歯科	81
訪問看護ステーション	247
保険薬局	353
薬剤・診療材料センター	34
看護・介護学校	8
検査センター	2
老人保健施設	52
在宅介護支援センター	25
特別養護老人ホーム	35
鍼灸所	3
研究所	2
ヘルパーステーション	57
グループホーム	23
在宅介護福祉関係施設	211
ケアハウス	11
その他	13
合計	1,794

主な医療団体との比較

職員数

民医連	82,330 (2017.10.1)
日赤	58,349 (2017.4.14)
厚生連	54,019 (2017.3.31)
済生会	59,000 (2016.4)

1日平均の外来患者数

民医連	64,479 (2016年度)
日赤	68,000 (2016年度)
厚生連	47,287 (2016年度)
済生会	27,780 (2016年度)

訪問看護ステーション数

民医連	249 (2017.12)
日赤	46 (2016.1)
厚生連	101 (2017.3)
済生会	56 (2017.3)

診療所数

民医連	505 (歯科除く)
日赤	5
厚生連	65 (2017.3)
済生会	19 (2017.3)

1日平均の入院患者数

民医連	22,567 (2016年度)
日赤	29,000 (2016年度)
厚生連	26,673 (2016年度)
済生会	18,273 (2016年度)

病院数

民医連	142 (2017.12)
日赤	92 (2017.3)
厚生連	108 (2017.3)
済生会	79 (2017.3)

病床総数

民医連	25,341 (2016年度)
日赤	36,487 (2017.3)
厚生連	33,905 (2017.3)
済生会	22,227 (2017.3)

(調査日)

ハンセン病患者隔離の歴史から



収容棧橋



クレゾール入りのお風呂

「現場に足をはこぶ大切さ」

以上のハンセン病に関する学びを通じて、今後の学習においても重要と考えられるのは次の3点です。

- ※1 国立感染症研究所によると、日本国外では新規患者数は年間約21万人（2016年、WHO）にのぼる。主な国の年間の新規ハンセン病患者数は、インドで約13・5万人、ブラジルで約2・5万人、インドネシアで約1・7万人。
- ※2 患者らの体験については、徳永進「隔離故郷を追われたハンセン病患者たち」（岩波書店1991）に詳しい。
- ※3 合宿全体の議論を通じて、この隔離政策の背景には優生思想を背景とした個人の人權を否定する価値観や、戦時体制の準備と国民の相互監視システムを構築したいという行政の思惑も

合宿 1日目



国立ハンセン病療養所・長島愛生園 in Okayama

関西医科大学2年生

緒方 隼

Jun Ogata



「ハンセン病とは」

ハンセン病は、抗酸菌の一種・らい菌が呼吸器または皮膚に感染しておこる慢性感染症であり、末梢神経障害や皮膚病変を生じるものです。重症化すると皮膚・関節の変形や視覚障害・知覚の麻痺によって二次的に外傷と感染症の多発なども引き起こしますが、らい菌の感染力・病原性は低く成人であれば感染しても発症することは稀です。

ただし、乳児期にハンセン病患者と頻繁に接触していた場合に感染・発症する可能性があり、その潜伏期間は数年〜数十年と非常に長いものです。国立感染症研究所によると現在の日本では年あたり数名の発症が確認されるのみで、その治療法も確立されています^{※1}。

重度のハンセン病は皮膚・関節の変形と容貌に著しい変化をもたらし、ハンセン病患者は歴史的に差別の対象となってきました。日本政府は1907年（明治40年）に「癩予防に関する件」という法律を制定し、定住地を持たないハンセン病患者Ⅱ「放浪癩」を療養所に収容し始めました。この法には国主導のハンセン病患者の治療・救済という側面もあったものの、社会的な隔離の第一歩であった点、ハンセン病の伝染力が過大に受け止められる要因の1つになった点など、差別を助長する結果をもたらしました。

1931年には「癩予防法」が制定され「無らい県運動」

大阪民医連の奨学生は、医療を取り巻く様々な社会問題を中心に学びを深めています。2018年の学習テーマのうち、ハンセン病患者の歴史とその問題点については特に力を入れて学習し、夏合宿では国立ハンセン病療養所・長島愛生園を訪れました。

全国的な展開とともにハンセン病患者の強制隔離が進められました。隔離政策の浸透に伴い、多くの人々が抱くハンセン病への恐れと偏見は一層強化され、ハンセン病患者本人はもとより家族さえも差別の対象となり、親族・兄弟の破談に繋がったり、村八分にあったという事例は数多く見られます^{※2}。戦前・戦中に根付いた差別に加えて、戦後の新憲法のもとでも「らい予防法」は維持され、平成に入るまで廃止されることはありませんでした。患者たちは有効な治療薬が発見され、病が治癒したあとも療養所から出ることで法的にも社会的にも非常に難しい状態におかれ続けたのです。

更にいえば、学習前の我々がそうであったように、ハンセン病は「教科書の1ページ」としてのみ扱われ、その歴史が重要な問題として注目される機会はほとんどありません。ハンセン病患者らは社会から差別され、切り離され、忘れられてきたのです。

このようにハンセン病隔離の壮絶さと患者らの苦しみには想像を絶するものがあります。

「問われる医療者の姿勢」

一方、ハンセン病をめぐる医療者のあり方にも考えさせられる点は多くあります。治療法のわからない伝染病と人權の尊重、強制不妊手術の問題、医学的正しさと社会的な正しさの食い違い、医学会の権威主義的姿勢などなど。そ

- ① 実際に現場に足を運ぶことは非常に大切である。
- ② 医師がどのような立場に立つかが多くの人々の人生を左右することがある。
- ③ 社会問題を考える上で歴史的背景も含めた視野を持つことは重要である。

これらは意識して学ぶ機会がなければ、現在の大学での医学教育だけでは身につけることが難しいものです。なかでも自ら足を運び人々の声に耳を傾ける学習を続けていくことは、座学が中心となりがちな医学生にとって重要な体験です。今回の学習を通じて、「現場に行く」というスタイルが我々の世代独自の課題に取り組むために、そして地域と共にある医師となるためには欠かすことのできない方法だと、強く感じました。

MESSAGE

合宿に参加した
医師からコメントを
もらいました

合宿の交流会では研修医がアルコール依存症患者を受け持った経験を発表しました。当初病名から近寄りたさがあつたが、話を聞くうちに他の患者と何ら変わりはなく、こちらから積極的に接することで負のイメージがなくなったとの結論でした。医師はこうして一人の人として接する中で「普通じゃん」感覚を身につけていきます。ハンセン病患者に当時の政府、「権威」医師と周囲の人々は冷たく対応してきました。障がい者、外国人、生活保護利用者、LGBT、被差別地区住民……、自分とは少し違う人を除け者にする態度はどうしてなのか、続くのでしょうか。「無差別平等」は「そうはしない」との民医連職員としての決意の表明です。



神戸大学医学部
医学科3年生
杉 義人

Yoshito Sugi

「困難な人々によりそう」

民医連の強みである公害に対する活動や災害医療の話を聞いて、本当に困っている人々に寄り添うということはどういうことなのか知ることができました。これらの活動に加えて、支援には他にも様々な手段があると思います。自分が診療に従事するようになり、困っている人々を前にした時に、どのように助けの手を差し伸べることができるのか

これからも学んでいきたいと思っています。

※1 里見和彦先生…1979年岐阜大学医学部卒業。現在は水島協同病院院長。水島公害裁判

当時、医師の立場から弁護士と共同で症例検討を繰り返して主治医意見書の作成に尽力、被告企業との公害裁判で争い、1994年の岡山地裁で勝訴する。また水島協同病院では患者救済に取り組む。

※3 D M A T…災害派遣医療チーム (Disaster Medical Assistance Team) の頭文字をとって略してD M A T (ディーマット) と呼ばれています。医師、看護師、その他で構成さ

れ、大規模災害や多傷病者が発生した事故などの現場に、急性期(おおむね48時間以内)に活動できる機動性を持った、専門的な訓練を受けた医療チームです。

※2 水島公害裁判…1961年岡山県水島臨海工業地帯にて本格操業された水島コンビナートの工場より排出される汚染

物質を含んだ煙により、周辺地域では悪臭、農作物被害、喘息等の健康被害が多数発生。1975年には同地域の3800人以上が公害病と認定される。1983年には患者らが中心となり水島コンビナート企業8社を提訴、1994年には原告勝訴の判決が下り、工場が排出した大気汚染物質が病院の原因として、原告全員が公害による病気であると認められた。

合宿 2日目



水島協同病院
in Okayama

国家による強制隔離施策と 元患者のたたかい

かつてハンセン病は、らい病と呼ばれていましたが、「らい予防法廃止に関する法律」が制定された1996年(平成8年)、病原菌を発見したノルウェーの細菌学者の名前を取って、公式にハンセン病と改称されました。

明治時代になり、日本の近代化や富国強兵の下、1907年(明治40年)「らい予防に関する件」という法律を制定、「放浪らい」を療養所に入所させ、一般社会から隔離してしまいました。1929年(昭和4年)には「無らい県運動」が全国的に進められ、1931年(昭和6年)には従来の法律から「らい予防法」を制定、ハンセン病撲滅政策という考えのもと、国

民の中に差別と偏見を植えつけ、在宅の患者も療養所へ強制的に入所させるなど、国家による本格的な強制隔離政策が行われました。問題なのは、基本的な人権の保障を大きな柱とした戦後の新憲法においても1953年(昭和28年)改定された「らい予防法」により、1996年(平成8年)に廃止されるまで、強制隔離政策がむしろ強化・維持された事です。法廃止にもかかわらず、国は過ちと責任を認めず差別が続いたために、療養所内外のハンセン病元患者(回復者)の方々が1998年(平成10年)らい予防法違憲国家賠償訴訟を提起しました。2001年の熊本地裁判決では、ハンセン病予防法を作り、これを永く廃止せずにあらゆる人権をはく奪したことを認め、国(立法府、行政

府)の責任を全面的に認めました。国のハンセン病政策こそ、国民の中に偏見と差別を「作出・助長」したものであると断罪しました。その後、も裁判の原告団や全国ハンセン病療養所入所者協議会(全療協)や弁護士等による運動により、2008年(平成20年)に終生の在園の保障と生活環境の向上等を謳った「ハンセン病問題基本法」も制定されました。熊本地裁から15年後の2016年4月、最高裁判所が、ハンセン病「特別法廷」の指定について裁判所違反であり、ハンセン病患者の人格と尊厳を傷つけるものであったと謝罪しました。これで3権の府が人権侵害の事実を認め謝罪しましたが、2017年に立ち上がった元ハンセン病患者者家族の損害賠償裁判が現在行われています。

「水島公害裁判」

水島協同病院の里見和彦先生の生い立ちから水島公害裁判に関わったことについてお話を伺いました。公害の裁判の話は日本史の授業等で何度か聞いたことがありましたが、実際に裁判に関わられた先生のお話を聞くのは初めてでした。仕事が終わった後夜遅くまで、またある時は土日を利用して、医師、弁護士のチームで主治医意見書を書き上げたという話から、公害裁判の勝訴の裏側では、多忙な毎日の中で時間を捻出して支えた人たちがいたという事実を知ることができました。今、美しい青空の下で生活ができるのは、このような方々の努力の賜物であると思います。

「西日本豪雨災害について」

災害時にはD M A Tが48時間以内を目安に活動し、72時間を経過すると急性期の患者数が落ち着き、100時間程度で後方支援基盤が整うことから活動を終結します。しかし、被災地ではD M A Tが活動を終結した100時間後に生活が元通りになるわけではありません。被災者の健康管理の留意点や被災後の患者数の推移、新規入院患者の疾病など、普段の診療で診る病気に加え、被災したことによって発生した病気の種類や、全国組織の民医連だからこそ全国からの統括された医療支援が行えるという話を聞きました。

平林 邦昭 Hirabayashi Kuniaki

金沢大学 1984 年卒。IPPNW 会員、日本外科学会指導医・専門医、日本消化器外科学会認定医、日本大腸肛門病学会会員、日本消化器内視鏡学会会。現在、耳原総合病院・緩和ケア病棟医長。



原爆犠牲者の鎮魂と永遠の平和を
願い建てられた平和祈念像
(長崎市長公園)

核兵器こそ「健康の対極」、 医師として核廃絶を めざそう！

11月4日、第29回「核戦争に反対する医師・医学者のつどいin長崎」(以下つどい)からの帰路、新幹線の車内でこの原稿を書いています。

IPPNW(核戦争防止国際医師会議)

1980年、私の学生時代にIPPNW(核戦争防止国際医師会議)が米国ボストンで結成され、1985年にノーベル平和賞を受賞しました。それに呼応する形で国内でも「反核医師の会」が結成され、以後毎年この「つどい」が開催されるようになりました。またそれは、84年に私が金沢大学を卒業し、大阪民医連・耳原総合病院で1年間の内科研修を終え、85年に外科医としての研修を始めた時期と重なります。

私が選んだ外科が対象とする疾患の大部

IPPNWの 会員になつてから

ボストン大会の後IPPNWの会員となった私は、以後毎回のよう
に若い医師たちとIPPNWに参加し、毎年国内の「つどい」にも参加しています。この9月にも「北東アジアの非核化」をテーマにしたモンゴル・ウランバートル市でのIPPNWに参加し発言もしてきました。ご存じの方もおられると思いますが、戦争直後のシベリア抑留によって多くの日本兵、また満州の地にいた民間人が強制労働でシベリア、モンゴルで亡くなっています。今回のモンゴル訪問では私が代表となり3名の医師でウランバートル収容所の日本人墓地にも訪れました。原爆同様、我々日本人が決して風化させてはならない出来事です。2006年のIPPNWヘルシンキ大会

なにわの 医療道場

大阪民医連の医療活動



分が癌なのですが、その原因の重要な一つに放射線被ばくがある事に後年気付く事になります。

身近な問題としての被爆者医療

現在、私は大阪民医連・耳原総合病院で被爆者医療にも関わっています。

私の誕生日は「8月6日」、そして私の母の従妹の一家が戦争中、広島島の爆心地の近くに住んでいたため原爆で一家全員が亡くなっているのです。母からその話を聞かされ、子ども心に原爆に関心を持っていたのは事実です。私は母が作るカキフライが大好きでしたが、食卓にカキが上がる季節になると、母は決まって「原爆の前には、広島の家から冬になるとカキが送られてきたんだよ。」と私に話してくれました。

そういう事もあり学生時代、仲間と共に金沢から夜行で広島の水原大会に参加した事も今では懐かしい思い出です。

医師になり耳原総合病院で働き始めると、幸いIPPNW活動に熱心な先生がたがおられました。その影響で大阪民医連でも公募制で若手医師を毎回IPPNW世界大会に派遣している事を知りました。

私が全国の民医連の仲間とIPPNW

でオーストラリア支部から初めてICANが提唱されました。この

行っていたのではダメだ、「広く市民運動として行つてゆく事が重要である!」、と言う呼びかけでしたが私もその場にいて強く共感した事を昨日のごとく覚えています。そして翌年2007年にICANが誕生し10年後の昨年ノーベル平和賞を受賞しました。

そのノーベル平和賞の公式レプリカが、9月に耳原総合病院に展示されました。

医師としての使命

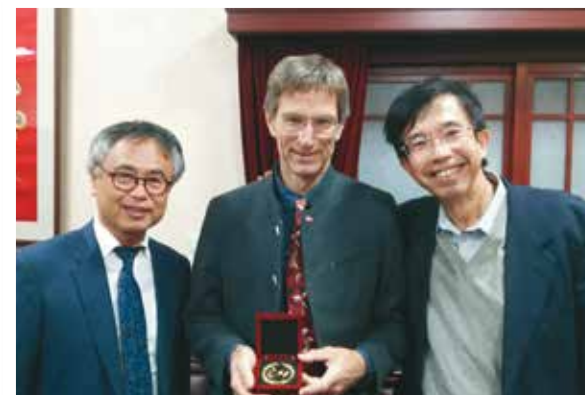
そして今回の長崎の「つどい」では、IPPNW会長でもありICANの呼びかけ人でもあったオーストラリアのティルマン・ラフ先生が記念講演と共に本物のノーベル平和賞を会場に持参してくれました。

核兵器は製造・保管するだけでも発癌はもちろんのこと周辺住民の健康に重大な影響がでる事は今や周知の事実です。我々医師こそ、核兵器は「不健康の元凶である事!」「我々が目指す健康な社会の対極に位置するもの!」であることに確信と自信を持ち「核の無い世界」の実現を共に目指してゆきましょう。

なにわの医療道場「こんなコト聞きたい」大募集!

なにわの医療道場では、テーマを変えて医師を目指す方たちへメッセージを掲載しています。技術的なことだけでなく、「医師にとっての志」「社会の中での医師の役割」など、テーマは多数。取り上げてほしいテーマなどございましたら大阪民医連までご連絡ください。

大阪民主医療機関連合会(大阪民医連)
〒541-0054 大阪市中央区南本町2-1-8 創建本町ビル2階
TEL: 06-6268-3970 FAX: 06-6268-3977 E-mail: igakusei@oskmin.com



中央) IPPNW ラフ会長、左) 東大阪生協病院 小児科の春本医師、
右) 平林医師

高校生・受験生からの質問に医師、医学生が答えてくれました!!

一日医師体験の終了の際に感想文とアンケートを書いてもらっています。その中で、医師や医学生に聞いてみたいことを質問する項目があります。質問への回答を載せましたので是非、参考してみてください。

Q1 患者とのコミュニケーションを大事にしたいのですが、現場で気を付けている事や、また学生の時から出来ることはありますか？

- 解答**
- 難しい医療用語をなるべく使わないようにします
 - 相手の話を傾聴し、ゆっくり話すようにしています
 - 患者さんの気持ちを想像するように心がけています
 - 部活や学校での人間関係を大切にしています
 - 飲食店などサービス業のアルバイトをすると人間関係やコミュニケーションスキルを磨けると思います

Q2 医学部で私立か国公立のどちらに行くべきですか？

- 解答**
- 金銭面を考えれば国公立、設備面では私立でしょうね
 - 臨床だけなら私立が国公立で違いは特にないです
 - 研究をしたいなら国立、特に旧帝大が良いかなと思います
 - 基本的に関係はないと思います

Q3 どういうふうに勉強すると効率的ですか？

- 解答**
- 自分にあった勉強方法を早く見つけます、いくらまわりで良いと言われていても勉強方法が自分に合わなければ意味がないです
 - 教科書を隅から隅まで完璧に理解できるようにします
 - 空き時間をこまめに見つけて勉強します

Q4 復習の仕方にコツはありますか？

- 解答**
- 人に教える事でより記憶を定着させることが出来ると思います
 - 勉強したあとすぐに復習をします
 - 自分が間違えた所や理解の浅い所をノートにまとめて重点的に復習していました

Q5 体力に自信がないのですが、やっていけますか？

- 解答**
- 医師の仕事は様々な診療科やスタイルがあるので自分にあった生き方が見つかると思います
 - 体力的にも精神的にも苦しい場面は出てくると思いますが、その時に支え合える人がいれば体力がなくてもきっと乗り越えられるはず
 - 肉体的な体力もある程度はいけますが、精神的な体力も必要ですね

医学生からのメッセージ

高校2年時の医師体験では、在宅医療に同行させて頂きました。そこで、医師と患者さんの深い信頼関係を感じ、私もこのように強く必要とされる医師になりたいと思うようになりました。体験のおかげで、自分の中に理想の医師像を築くことができ、めざしたい大学が明確になりました。

医学部をめざしているみなさん！上手くいかない時もあると思いますが、こんな医師になりたいという強い思いで、最後まで受験を頑張り抜いて下さい!!

(大谷高校卒業生 滋賀医科大学 医学部医学科2年 清原 華也さん)

申し込み
方法

医師体験



イベント



または

医学生ドットコム
<http://www.oskmin-igakusei.com/>

検索

医学部をめざす

高校生・受験生のみなさんへ 未来の医師を応援



医師体験

日曜・祝日などを除く診療を行っている日であれば、いつでも受け入れを行なっています(土曜日は要相談)(年末年始は診療を行っていないため受け入れ不可)。日本各地にある民医連加盟の病院や診療所で医師体験を実施しています。お近くの事業所をご紹介しますので気軽にご相談ください。医師体験では医師との懇談や診察見学、病院・診療所の検査機器などの見学やオペ室見学、時にはカンファレンスに参加したり、訪問診療で患者さんのお家に伺ったり、あまり見ることのない医師の働き方を知ることができます。また、介護施設などの福祉施設見学もできますので、事前に興味のあることを教えてください。

医学生と しゃべり場

6月と10月に開催しています。様々な大学の医学生に受験時の悩みや勉強の仕方、予備校の選び方等ざっくばらんに話することができます。時には保護者の方の悩みにもこたえてもらうことも。医師の講演会もありますので医学生と一緒に学べる企画です。しゃべり場に協力してくれる医学生ボランティアも募集中!



医学部受験には避けて通れない、医療倫理の分野から「安楽死」や「セクシャルマイノリティ」などをテーマに学習と交流を行っています。教材から、「患者の立場ならどう思いますか?」「家族の立場なら?」「お医者さんの立場なら?」と、様々な立場での視点でディスカッションをします。自分の意見をしっかり伝え、相手の意見も尊重し、医師と一緒に、多様な意見があることを学びます。医師や医学生との交流もしっかりできます。

医療・倫理 セミナー



手技 レクチャー



医師体験ではなかなか体験できないプログラムを特化した企画です。BLS(一次救命処置)体験、縫合キットを使った縫合体験や腕の模型を使った採血など時々で内容は変わりますが医師になった気分を先取りしてモチベーションアップ!! 医師との交流もできます。

模擬面談



推薦入試とセンター試験後の時期に開催。「面接とは?」のレクチャーの後、医師と管理職のプロの面接官を前に面接を行ないます。志望大学の過去の面接内容を質問項目にあげ、面接後はフィードバックを行ないます。交流会では参加者や医師との交流も行ないます。

その他、合格おめでとう会 & 入学前実習や
さまざまなボランティア活動もやっていきます!!

耳原総合病院 上角亮介

RYOSUKE
JYOKAKU

皆さんこんにちは！ 耳原総合病院 初期研修医1年目の上角亮介です。今回の研修エッセーは、僕の高校生の頃から今に至るまで、医師体験や病院実習がどう自分を変えてくれたかについて書かせていただきたいと思います。

僕と民医連との出会いは高校一年生の冬でした。大阪の高校に通っていた僕は当時は医学部志望でもなく、高校の授業の一環として耳原の病院実習を何気無しに選択しました。病院に着くなりスタッフの皆さんが大歓迎してくださったことを覚えてます。医学に興味がなくとも、優しい先生や看護師さんに囲まれて、血圧測定と聴診器の使い方を教えてもらうことで病院についていこうなやなあって、こんないい方々がいるんやって、当時の僕は純粋に医療のイメージが変わりました。出会って大事。ふんわりと、耳原は僕の医療者へのレールを敷いてくれました。

それから2年経ち、僕は恩師のアドバイスもあり医学部へ入学しました。大学の授業は厳しく暗記を繰り返す日々で、進路が果たしてこれで良かったのかと自問自答に苦しむ日々を過ごす。

皆さんこん中で、地域診療所実習の機会があり、僕はあみだくじで運命的に民医連の診療所で実習することになりました。診療所での実習は大学の授業と全然違い、実際に患者さんとゆっくりお話でき、一人ひとりの患者さんの困っていることに時間をかけて耳を傾けることができる実習でした。

診察室の診察だけで終わらない、患者さんが前向きにこれからの治療、人生を考えられるようにと愛情で見守る医療を教えて頂き、僕はやっぱりこの道に進んで良かった、こんな方々と一緒に頑張りたいと思うようになりました。当時の先生方、スタッフの皆様感謝しかありません。本当に。

そんな思いもあり、僕は国家試験を越えて今年の春から耳原総合病院で研修医として日々医療に励んでいます。一つ言えることは、医師を目指して本当に良かったということです。耳原に来ると、同じ思いで頑張れる同期がいて、いつでも優しく見守ってくれる先輩と上級医、スタッフの皆さんがいて、温かい気持ちで毎日を過ごせています。

何をすることも大事ですが、誰とすることもとても大事。耳原には尊敬できる同期や先生方がいて、こうなりたいと思うから、前向きに医療に励むことができるんだと思います。そんな人々に刺激を受けながら、今は小児腎臓病医を目指している毎日です。

将来何科になりたいかとか、尊敬する先生がいるかとか、そんなビジョンが学生の頃からあることは素晴らしいと思います。でもなくても全然いいと僕は思います。誰かを助けて幸せにしたい気持ちがあれば、多くの出会いを経て自然に道は拓けるはず。それを身をもって教えてくれたのが、医師体験や病院実習でした。皆さんも自信を持って、道を拓いていってください。頑張る皆さんを、応援しています。



上角亮介 PROFILE ●奈良県立医科大学を2018年に卒業。同年4月より耳原総合病院にて初期研修を開始

奈良県立医科大学6年生 中森晃二

KOJI
NAKAMORI

8月25日、26日に鹿児島県で行われた第36回ミナマタ現地調査に参加しました。水俣病は誰もが教科書で耳にしたことのある4大公害の1つだと思えます。もちろん私も、水俣病とは工場から排せられたメチル水銀が生物濃縮され、それを食べた人に様々な神経症状を引き起こす疾患であることは知っていました。しかし、私が知っていたのは水俣病のほんの一部に過ぎませんでした。

ミナマタ現地調査初日、新大阪で集合し新幹線で鹿児島県の出水に向かいました。「(水俣市は熊本県だったような...?)」と少々不安な気持ちでした。出水駅で下車し、すぐ目の前の集合場所で開催式を終えてからバスに乗り込みました。今回、現地調査を行ったのは鹿児島県の長島というところでした。

長島は、鹿児島県の北西に位置し、不知火海を挟んで水俣市の対岸に位置しています。長島では巾着網漁という漁法が盛んに行われ、不知火海産物は島全域で食べられていました。そのため、長島には水俣病を発症された方が多く住んでおられます。しかし、国が定めた水俣病の救済地域の範囲は長島東部の東町

だけでした。島の東部は汚染されている不知火海に面し、西部は汚染されていないとされる東シナ海に面していたからです。

そもそも、救済というのは水俣病で被害を受けた人々のためにあるべきであるはずなのに、その線引きが「被害を受けたかどうか」ではなく「島の東西どちらに住んでいるか」というのは被害者のことを考えておらず、機械的で根拠がないと感じました。

2日目はオプショナルツアーに参加し、水俣市と旧チッソ水俣工場(現在のJNC株式会社)周辺の見学をしました。水銀を含む有害な廃水が水俣湾へと流された百間排水口や、チッソ水俣工場と睨み合うように建てられた水俣協立病院を見て、水俣病との長い闘いの歴史を感じ

ました。

中でも水俣湾の水銀ヘドロが埋め立てられたエコパーク水俣は、耐久年が50年と言われており、すでに約40年が経過しています。近い将来、再び水銀が流出する可能性はゼロではなく、被害者救済だけでなく水俣湾の汚染の問題もまだ終わっていないと知りました。

私たちは様々な化学物質と共に生活しています。その中には人体への影響や存在そのものが知られていない物質もあるでしょう。したがってこれからも新たな公害に出会う可能性は大いにあると思います。そうした時に、医師としての目の前の患者さんに真摯な姿勢で向き合いたいと改めて思いました。



国試対策にも役立つ なるほど道場

国試対策も役立つ問題を3問出題します。正解者の中から抽選で10名様に「Quoカード1000円分」をプレゼントします。当選者の発表は賞品の発送をもって代えさせていただきます。クイズの正解は次号で発表します。

締め切り 2019年6月30日(日)

今回の出題

Q1 人の血球の性質、役割について誤っているものはどれか？

- Ⓐ 好中球 - 貪食
- Ⓑ 血小板 - 止血
- Ⓒ 好酸球 - 寄生虫への免疫
- Ⓓ 好塩基球 - 貪欲
- Ⓔ 単球 - 貪食

Q2 炎症の5徴に含まれないものを一つ選べ。

- Ⓐ 発赤 (redness)
- Ⓑ 熱感 (heat)
- Ⓒ 腫脹 (swelling)
- Ⓓ 疼痛 (pain)
- Ⓔ 動悸 (love)

Q3 オプジーボ (PD-1 阻害薬) を発見した人はだれか？

- Ⓐ 本庶佑
- Ⓑ 山中伸弥
- Ⓒ 坂口健太郎
- Ⓓ 大村智



成田 亮紀 Narita Ryoki
耳原総合病院 初期研修医

PROFILE ● 大分大学医学部 2018 年卒業。同年 4 月より耳原総合病院にて初期研修を開始。

応募方法

応募締め切り：2019年6月30日(日)

E-mail 送り先：igakusei@oskmin.com

「なるほど道場」プレゼント係

応募方法：

①～③までの答えを明記し「お名前」「ご住所」「電話番号」「大学名・学年」「取り上げてほしい記事」を記入し、左の E-mail アドレスまで送信するか同封のはがきにご記入のうえ下記住所までお送りください。ご不明な点は下記までお問い合わせください。

● 大阪民医連医療機関連合会 (大阪民医連)

〒541-0054 大阪市中央区南本町 2-1-8 創建本町ビル 2 階 TEL：06-6268-3970 FAX：06-6268-3977

No.70
の答え

- Q1. ④：悪口は慎みましょう。
Q2. ④：正しくは脈拍触知不能 (pulseless)。
Q3. ⑥：なぜか白血球に貪食されやすい菌として有名。



facebook「大阪民医連医学生ページ」は、皆さんに当会の取り組みを知ってもらうために担当スタッフが様々な記事を絶賛配信中です。イベントや病院見学など、みなさんにも有益なお知らせを散りばめています。気に入った記事があったら、ぜひみなさんの「ええやん!」をお願いします。

大阪民医連医学生ページ 検索



SUPPORT CENTER

枚方医学生サポートセンター

573-0051 大阪府枚方市三矢町 5-18 メゾン枚方 114 号室
TEL. 06-6268-3970



枚方医学生サポートセンターって どんなところ？

関西医科大学から西へ徒歩7分、淀川資料館の向い(メゾン枚方1F)にある大阪民医連枚方医学生サポートセンターは枚方、狭山、阿倍野の3箇所ある大阪民医連の医学生サポートセンターのひとつです。枚方サポートセンターでは、毎週水曜の夜に夕食会を開催しています。病院職員や医療生協かわち野の組合員(※)がその場で出来立ての料理を提供してくれるので、メニューの要望を気軽に言えるのも魅力です。医学生ゼミナールや各種学生向けの勉強会、交流イベント

枚方医学生サポートセンターで できること

※組合員とは、消費生活協同組合法に基づいて全国各地にある医療福祉協法人に出資し、健診事業や班活動を通じて自ら健康づくりの主体として活動する地域の人々の総称です。

Wi-Fi環境と自由に使えるコピー複合機が設置されているので、オンライン講座での自習、携帯やパソコンでのインターネットができる他、授業で配布されたプリントやデータースキランでデジタル化や提出課題の印刷もできます。自主ゼミの打ち合わせや10人程度の学習会にも事前に予約すれば使えます。

大阪民医連には研修病院である耳原総

の情報が職員や先輩から聞ける事もある。時には他大学の学生や先輩医師との「出会い」があったり、仲間たちと本音で「まじめな交流」ができたりする場になっています。訪れる学生も様々です。テストの愚痴をいって苦しみをかち合っている部屋の隣室では勉強をする学生や、「疲れた」と畳で大の字になる学生など、自由な空間に集まっています。専任の事務担当者がいますので進路相談をはじめ、さまざまな悩みにこたえます。

最後に

枚方医学生サポートセンターは医学生生活と自由な学びを全力でサポートしています。こんなことやってみてほしいなど要望があればなんでも言ってください。皆さんをお待ちしていますので気軽に遊びに来てください！枚方医学生サポートセンターに行ってみてという方は下記QRコード「医学生ドットコム」の問合せフォームよりお問合せ下さい。



過去の学習会

- 画像診断の見方セミナー基本編
- 救急救命処置レクチャー
- 被災地支援現地活動報告会
- 医療ドキュメンタリー映画「シッコ」上映会
- ヘルスプロモーションについて
- ホームレスの見守り夜回り体験レポートなど

合病院、西淀病院、東大阪生協病院、コープおおさか病院や多数の診療所などの医療機関や看護学校、多くの介護福祉施設が加盟しています。地域医療を学べる豊かな「フィールド」を使つての自主的な病院実習や医療・介護現場体験や勉強会の開催をお手伝いします。サポートセンター主催の学習会も開催しています。

私たちは
おおさか民医連
Osaka Min-iren



大阪民医連は、無差別・平等の医療と福祉の実現をめざす組織です。2018年、連合会設立65周年を迎えました。現在、4つの病院、47の診療所、5つの歯科診療所、20の訪問看護ステーション、34の保険薬局、2つの老健施設、薬剤・診療材料センター、1つの看護専門学校、検査センター、在宅看護支援センターそして研究所が、大阪民医連に加盟しています（2018年2月現在）。病院・診療所での実習を、随時受け入れています。

奨学金
制度

大阪民医連では、いつでも、どこでも、だれもが安心してよい医療を提供できる医療機関を目指しています。私たちの医療活動に共感し、ともに働く意思のある方を対象に奨学金を貸与しています。

●対象学年と奨学金（月額）

Aコース

1～2年生 50,000円

3～4年生 60,000円

5～6年生 70,000円

Bコース

全学年 100,000円

他の奨学金と併用できます。詳しくはお問い合わせください

大阪民医連の病院紹介（詳細は各病院のHPをご覧ください）

臨床研修
指定病院



耳原総合病院（病床数 386床）

- 大阪府堺市堺区協和町4丁465 TEL.072-241-0501(代)
- 南海高野線堺東駅よりバス10分

臨床研修
指定病院



西淀病院（病床数 218床）

- 大阪市西淀川区野里3-5-22 TEL.06-6472-1141
- JR東西線御幣島駅徒歩5分



東大阪生協病院（病床数 99床）

- 東大阪市長瀬町1-7-7 TEL.06-6727-3131
- 近鉄大阪線長瀬駅徒歩3分



コープおおさか病院（病床数 166床）

- 大阪市鶴見区鶴見3丁目6-22 TEL.06-6914-1100
- 地下鉄長堀鶴見緑地線今福鶴見駅徒歩4分

